

# 自然教育園の 12月に見ごろの植物



ヒラギ

武



サルトリイバラ(実)

武



ムシアブミ(実)

武

路



マユミ(実)

水



サネカズラ(実)

水

路



ヒガンバナ(葉)

武

水

路



イロハモジ(紅葉)

武

水

路

森



ヤツデ

路



イイギリ(実)

水

路

館



ウバユリ(実)

路



カラタチバナ(実)

武

路

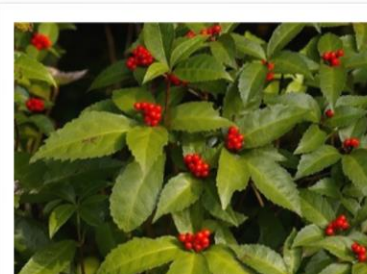


マンリョウ(実)

武

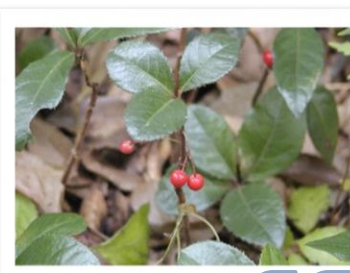
路

森



センリョウ(実)

路



ヤブコウジ(実)

武

路



武 武蔵野植物園 付近

水 水生植物園 付近

路 路傍植物園 付近

森 森の小道

館 館跡 付近

# いきもの解説

## ヒイラギ

<11月上旬～1月下旬>

柊（ひいらぎ）の漢字のとおり、冬に花を咲かせます。節分にヒイラギの枝とイワシの頭を戸口に刺し、魔よけに使うことで有名です。



武

## ムサシアブミ(実)

<11月下旬～2月中旬>

トモロコシのような形の赤い実が、土からニョキっと出ています。赤くて美味しそうに見えますが、有毒で食べられません。



武 路

## サネカズラ(実)

<9月下旬～1月中旬>

鮮やかな赤い実がたくさん集まってボール状になります。つやのある鮮やかな色合いが食欲をそそりますが、あまり甘みはないようで、食用にはされません。



水 路

## イイギリ(実)

<10月上旬～1月上旬>

見上げると、葉陰から赤色に色づいた実が見えます。飯桐（イイギリ）は、昔、桐に似た大きな葉で飯をつつんだことに由来します。ヒヨドリがよく、この実を食べにやってきます。



水 路 館

## ウバユリ(実)

<11月下旬～2月中旬>

乾燥すると3つに割れ、中には、タネが6列に綺麗に積み重なって整理しています。果実の裂け目はたくさんの筋で覆われていて、強風のときだけ効率よく遠方に飛ばされる仕組みになっています。



路

## マンリョウ(実)

<11月下旬～2月中旬>

庭園の植栽や盆栽などに利用され、日本の古い園芸植物として知られます。



武 路 森

## センリョウ(実)

<10月下旬～2月中旬>

果実は痔に効果があるとされ、民間薬にも利用されます。



路

全域で  
みられる

## ツグミ

冬鳥として大群で飛来し、日本に着くと徐々に散らばって生息します。両足をそろえて跳ねるように歩き、胸を張って立ち止まって、木の実などのエサを採ります。



## サルトリイバラ(実)

<10月下旬～2月下旬>

赤い実がよく目立ちます。西日本では、柏（かしわ）のかわりに、この丸い若葉で端午の節句の餅を包み柏餅とします。また、根茎は薬用にされるなど、昔からよく利用されてきた植物です。



武

## マユミ(実)

<11月上旬～12月中旬>

マユミ（真弓）の名前は、材のよくなる性質を利用し、弓を作ったことによります。実の形はピンク色のサイコロのようで、熟すと赤い種子が飛び出します。材は版木や将棋のコマなどに加工されます。



水

## ヒガンバナ(葉)

<10月下旬～5月上旬>

冬のこの時期でも、緑色の細い葉がよく目立ちます。このまま冬を越して春には葉は枯れ、その後、秋の彼岸に長い茎をのぼして深紅の花を咲かせます。花のある時期には葉がなく、葉のある時期には花はない特徴から、「葉見ず花見ず」という別名もあります。



武 水 路

花（9月）



## イロハモミジ(紅葉)

<11月下旬～12月下旬>

「もみじ」の代表選手。イロハモミジの名前は、子どもたちが、この葉の裂片を「いろはにほへと」と数えたことによります。



武 水 路 森

## ヤツデ

<10月下旬～1月中旬>

おしべ→めしべの順で熟し、めしべが熟す時期にはおしべはなくなります。これは、同じ花の花粉がめしべにつく「自家受粉（じかじゅぶん）」を避ける、遺伝的多様性を守る工夫です。



路

## カラタチバナ(実)

<10月中旬～2月上旬>

花のない冬に実を鑑賞するため、よく庭木や鉢植えにされます。



武 路

## ヤブコウジ(実)

<10月下旬～2月下旬>

高さ10cmほどの低木。葉に隠れるように赤い実をつけます。



武 路